

CS こひつじ科礼拝式次第

2022年8月21日 午前9時30分

2022年度年間テーマ：「イエス様の祈り『主の祈り』によって、祈ることを身につけよう」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「すべての人との平和を、また聖なる生活を追い求めなさい。聖なる生活を抜きにして、だれも主を見ることはできません。」
ヘブライ人への手紙12章14節

9、めぐみ うけて（こどもさんびかをお用ください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ 創世記37章23節～33節

37:23 ヨセフがやって来ると、兄たちはヨセフが着ていた着物、裾の長い晴れ着をはぎ取り、

37:24 彼を捕らえて、穴に投げ込んだ。その穴は空で水はなかった。

37:25 彼らはそれから、腰を下ろして食事を始めたが、ふと目を上げると、イシュマエル人の隊商がギレアドの方からやって来るのが見えた。らくだに樹脂、乳香、没薬を積んで、エジプトに下って行こうとしていたところであった。

37:26 ユダは兄弟たちに言った。「弟を殺して、その血を覆っても、何の得にもならない。

37:27 それより、あのイシュマエル人に売ろうではないか。弟に手をかけるのはよそう。あれだって、肉親の弟だから。」兄弟たちは、これを聞き入れた。

37:28 ところが、その間にミディアン人の商人たちが通りかかって、ヨセフを穴から引き上げ、銀二十枚でイシュマエル人に売ったので、彼らはヨセフをエジプトに連れて行ってしまった。

37:29 ルベンが穴のところに戻ってみると、意外にも穴の中にヨセフはいなかった。ルベンは自分の衣を引き裂き、

37:30 兄弟たちのところへ帰り、「あの子がいない。わたしは、このわたしは、どうしたらいいのか」と言った。

37:31 兄弟たちはヨセフの着物を拾い上げ、雄山羊を殺してその血に着物を浸した。

37:32 彼らはそれから、裾の長い晴れ着を父のもとへ送り届け、「これを見つけましたが、あなたの息子の着物かどうか、お調べになってください」と言わせた。

37:33 父は、それを調べて言った。「あの子の着物だ。野獣に食われたのだ。ああ、ヨセフはかみ裂かれてしまったのだ。」

[おはなしとおいのり 「神さまのお約束が実現するために」 杉山昌樹牧師](#)

（上のリンクをクリックし再生ボタンをクリックすると音声の流れます。もし途中で止まるようでしたらファイルをダウンロードしてください）

皆さん、お元気ですか？杉山です。今日は、創世記の後ろの方、ヨセフさんのお話の始まりです。創世記では37章から後全部がヨセフさんとその家族のお話です。興味のある人は一度通して読んでみるととても楽しい個所だとわかると思います。では、その中から今日はヨセフさんがエジプトに連れていかれて

しまうところを一緒に読んでみます。

(けさの聖書箇所を読みましょう)

皆さん、ヤコブさんのことを覚えていますか。今日の聖書にも出てきますね。アブラハムさんの子どもが、イサクさん、イサクさんのこどもが、エサウさんと、ヤコブさんでした。そのヤコブさんには十二人の息子たち、そして一人の娘がいました。今日の主役はその十一番目の息子であるヨセフさんです。ヤコブさんには二人奥さんがいました。もともと姉妹であったレアさんと、ラケルさんです。今は男の人も女の人も一人の人と結婚するのがルールですけれども、大昔は一人の男の人が何人かの女の人と結婚することがあったようです。ヤコブさんはもともと、ラケルさんが好きだったようですけれども、結果として二人と結婚することになりました。レアさんにはたくさん子どもが与えられましたけれども、ラケルさんには、なかなか子どもが与えられませんでした。そして、だいぶたってから、ようやく子どもが与えられました。それが、ヨセフさんです。ヤコブさんは、このヨセフさんを特別にかわいがったようです。ヨセフさんだけに、きれいな着物を作ってあげたりしました。当然、お兄さんたちは面白くありません。なんだ、あいつばっかり、とっていました。

それから、このヨセフさんには、神様から特別な力が与えられていました。それは夢によってこれから起こることがわかるという力です。聖書にはヨセフさんが、二つの不思議な夢を見たということが書いてあります。一つは、家族みんなで畑で麦の借り入れをして、束を作っていると、ヨセフさんの束が真ん中に立って、お兄さんたちの造った束が、それにひれ伏す、というものでした。もう一つは、太陽と月と、十一の星が、ヨセフさんにひれ伏す、というものです。この場合、太陽と月はお父さんとお母さん、そして十一の星はお兄さんたちのことです。これを聞いたお兄さんたちは、「どういうことだ」と言ってかんかんに怒ってしまいました。

そんなことがあった後、ある日お兄さんたちは野原で羊の世話をしていました。ヤコブさんはヨセフさんに「お兄さんたちと羊の様子を見てきなさい」と言って送り出しました。ヨセフさんは言われた通りに出かけていきました。やがて、ヨセフさんが近づいてくるのを見たお兄さんたちは、ひそひそと話を始めます。「おい、あの夢を見る方がやってくるぞ」、「ちょうどいい、懲らしめてやろう、いやいつそのこと殺してしまおうか」、「いやいや、それはさすがにやばいだろう」といった具合です。長男のルベンさんは「殺すのはやめて、あの穴に投げ込んでみよう」と言って地面に空いている大きな穴を指さしました。兄弟みんなはそれがいいと言って、本当にヨセフさんを捕まえるとその穴の中に放り込んでしまいました。それから、ヨセフさんが「お兄さん、何をしますか、出してください、助けてください」と言っているのを無視して、少し離れたところで食事を始めてしまいました。

その時、丁度、ミディアン人の商人たちが穴のそばを通過して、ヨセフさんを引き揚げ、イシュマエル人の商人たちに売ってしまいました。こうして、ヨセフさんは、エジプトに売られていくことになりました。お兄さんたちは、ちょっと懲らしめてやるつもりが、ヨセフさんがいなくなってとても困ってしまいました。そこで、ヨセフさんから取り上げた上着に殺した山羊の血を塗り付けて、お父さんであるヤコブさんに見せました。すると、ヤコブさんはヨセフさんが獣に殺されたと思ってとても悲しみました。今日読んだ聖書はここまでです。でも、この話はここで終わりではありません。実は、この後、エジプトに連れていかれたヨセフさんは、何度も困ったことに出会いますが、そのたびに神様によって助けられ、ついには

エジプトで二番目に偉い人になって、最後はお父さんやお兄さんたちを助けることになります。神様はとっても悲しく思うような出来事を通して、未来に起きる良いことの準備をしてくださっていたのです。

お祈り

父なる神さま。わたしたちのまわりで、何でこんなことが、と思うような出来事が起こったりします。私たちにはその意味がよくわからないことがあります。でも、あなたはすべてを知ってくださっています。神様は一つ一つの出来事を組み合わせて、最後は神様のご計画の通りにしてくださいませ。私たちの普段の生活も、遠い未来のいつか、役に立つことのために、準備されているのかもしれませんが。どうぞ、わたしたちが、神様に信頼して、今をしっかりと生きていけますようにお導き下さい。主イエス・キリストのみ名によってお祈りします。アーメン

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 会堂 2 階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

36、しゅにしたがいは (こどもさんびかをお用ください)